

京都大学訪問で学んだり考えたことを レポートにまとめ発表しました。

キャリア桐の葉Ⅱの進路学習では、「学校で勉強すること」、「受験勉強すること」にどのような意味があるのか、「大学が求める学力」とはどのような学力か、大学にどのような学部、学科があるかについて学習した後、京都大学を訪問します。

京都大学では、京都大学生から中学や高校時代はどのような学校生活を送っていたのか、どのように考えて京都大学を受験することにしたのか、どのような大学生生活を送っているのかについてお話を聞きました。その後は京都大学の研究施設を見学し、大学教授の研究内容や中学の学習と研究がどのようにつながっているのか、さらには中学校時代に努力しておくべきことについてお話を聞きました。

京都大学生に「大学選びで大切なこと」を質問したところ、「何を勉強したいのかを考えることが大切です。自分が勉強したいことを見つけるには、得意不得意関係なく、学校の勉強を大切にしてください。そうすることでわかってきます。」とアドバイスをいただきました。研究施設では、大学教授から「努力するのは当たり前のことで、もっと大切なことがあります。それは『才能』で

す。『才能』とは、夢中になって取り組める自分の好きなことや得意なことが『才能』なのです。」と話がありました。

京都大学の教授や学生さんから学んだことに共通しているのは、「自分が好きなことや得意なことを知ること、そして、そのために毎日の学校の勉強ややるべきことを精一杯頑張ること」が大切という考え方でした。学校での勉強や生活が大学での研究や将来につながっていることを実感できました。



魅力ある対象を探して、学習に取り組もうと思います。

京都大学生や、研究所の方たちはとても楽しそうでした。なぜなのか。見学してわかったことは、「魅せられている」ということです。自分がときめいているから、続けられるし、苦にならないんだと思いました。私も魅力ある対象を探して、学習に取り組もうと思います。また、今見つけた自分の熱中できること習い事を大切にしていきたいです。それが自分の将来に繋がると 생각합니다。